

Evolution of Corporate Networks in Twentieth Century Japan (20 世紀日本の役員兼任・派遣関係の変遷:戦前と戦後の金融システムへのネットワーク分析の応用)

講演者: 鯉淵賢 (中央大学 商学部 准教授)

概要:

本研究では、日本の大企業の企業間ネットワークの歴史的変遷に標準的なネットワーク分析を応用する。1912年、1927年、1937年、1957年、1973年、1982年、1992年、1998年、2009年の日本の近代化以降を網羅する9ヶ年について、総資産上位200社の事業会社と上位50社の金融機関の計250社間の役員兼任関係と役員派遣関係について、ネットワーク分析における密度(density)と中心性(degree centrality)の指標を算定して、その特性の変化を分析する。役員兼任関係のネットワークは、戦前において著しく顕著であり、対照的に、戦後の役員兼任関係は極端に希薄である。

戦後の企業間ネットワークは、主に6大系列集団の社長会に所属する主要銀行から同じ社長会所属企業への役員派遣によって顕著に特徴づけられる。この観点で、戦前の金融システムは、財閥オーナー、財閥の専門経営者、非財閥系の大口投資家などの個人が役員兼任関係を用いて相互に結びつくネットワークを顕著な特徴としており、戦後の金融システムは、銀行-企業間関係を基礎とするネットワークであると結論づけられる。

講演者プロフィール:

東京大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得満期退学(2002/09)

東京大学大学院経済学研究科修士課程修了(1998/03)

早稲田大学政治経済学部経済学科卒業(1996/03)

東京大学公共政策大学院(International Program) 非常勤講師(2011/04-)

中央大学商学部 准教授(2010/04-)

カリフォルニア大学サンディエゴ校国際関係・太平洋研究大学院 客員研究員
(2009/08-2009/09)

千葉商科大学商経学部 専任講師(2007/04-2010/03)

日本学術振興会特別研究員(PD・東京大学大学院経済学研究科)(2004/04-2007/03)

東京大学先端科学技術研究センター 特任教員(助手)(2002/10-2004/03)

カリフォルニア大学サンディエゴ校国際関係・太平洋研究大学院 客員研究員
(2000/04-2001/09)

中央大学総合政策学部 非常勤講師(2007/04-2009/03)

東京大学公共政策大学院 非常勤講師(2005/10-2008/03)

横浜市立大学大学院国際総合科学研究科 非常勤講師(2005/04-2005/09)

専門分野: 金融論